

事業報告書

事業報告

周南市文化振興財団は、指定管理者制度のもと周南市より委託を受け、平成18年度から周南市文化会館、周南市美術博物館、平成20年度から周南市郷土美術資料館の指定管理者として管理運営を行ってきた。令和3年度より新たに5年間の指定管理業務を受託し、令和6年度は4年目を終了したところである。

自主文化事業として、各館に応じた事業や地域との連携を重視した活動を行い、豊かな文化環境づくりを進めた。これらの事業を広く知ってもらい、また参加の機会を提供するため、3施設を一体化させた情報紙「かるちゃあ通信花畠」やホームページ、SNS等により、リアルタイムでの発信に努めた。中学校部活動地域移行に際しては、「周南かるちゃあサポートセンター」の設置に向け準備を進めた。

財団のこれまでのノウハウをもとに周南市文化芸術振興プランの策定委員会に参画した。

令和5年度に発覚した不祥事については、県や市の指導のほか公認会計士や社会保険労務士、行政書士など専門家の助言も受け、再発防止策を進めるとともに、研修を重ね職員のコンプライアンス意識の醸成に努めた。

1. 文化会館

文化会館は昭和57年に開館し42年目を迎えた。優れた舞台芸術を鑑賞する場、日頃の文化活動を発表する場、生活文化全般にわたる様々な催しの場として、適切な整備に努め利用を促進した。座席数1647席を持つ本格的な文化ホールとしての機能を発揮し、今では日本有数の集客力の高いホールとして認知されている。

大ホールを会場に事業を実施するホール事業と、幅広い事業を通して市民文化を育成する企画事業を、工夫と熱意をもって推進した。さらに館外での文化の普及を目指した事業にも取り組んだ。

(1) 管理運営事業

設備の整備充実を図り一層の利用促進に努めた。施設利用者の相談にもきめ細かく対応するなど、身近で親しまれる施設として運営を続けている。

(ア) 施設の整備

開館して42年が経過、長期改修計画に基づいて改善に努めている。大規模改修に向けて令和4年度から市との協議を開始、令和6年度は基本設計に向けての準備を開始した。日常においても舞台設備などの細かな点検や修理を定期的実施し長寿命化を図っている。

(イ) 施設の利用状況

令和6年度の年間利用者数は146,478人、使用料は39,022千円、使用件数は1,863件であった。

使用率は大ホール42.4%、全体で64.1%であった。

(ウ) プレイガイドの運営

文化会館の催し物をはじめ、県内各地のホールや美術館のチケットを販売、各種チラシも施設等のネームプレートを付けて分かりやすく設置するなど、機能の充実に努めた。

(エ) 公立文化施設協議会等

山口県公立文化施設協議会に参加し、各館の自主事業について調整や連携等を行った。また、一般財団法人周南観光コンベンション協会の理事として、コンベンション情報の提供等を行った。

(2) ホール事業

クラシック、ポップス、伝統芸能、演劇、演歌など、大ホールを利用して幅広く舞台芸術を届ける事業である。ほぼ例年並みの公演を行うことができた。実施にあたっては自主事業に加え、地元放送局、地元企業、プロモーターとの共催事業を積極的に展開した。

クラシックでは、「西京コンサート 佐渡裕指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団with 角野隼斗（ピアノ）」「広島交響楽団×三浦文彰 周南特別公演」などを開催、いずれも好評を得た。ポップスでは「中山美穂」「郷ひろみ」「野口五郎」「平井大」「スキマスイッチ」など、伝統芸能では「DRUM TAO」を開催した。吹奏楽では「yab吹奏楽コンサート 玉名女子高等学校吹奏楽部」、子ども向けに「しまじろうコンサート」「仮面ライダースーパーライブ」など、また「劇団四季 ジーザス・クライスト＝スーパースター」「でんじろう先生のドキドキわくわくサイエンスショー」など多彩なラインナップで盛り上げた。

(3) 企画事業

日常の生活の中に文化を定着させることを主眼にした企画事業は、財団独自のノウハウに根差した取り組みとして大きな成果を上げている。

詩人まど・みちおの世界を伝える「第29回まど・みちおコスモス音楽会」では714人の年長児が「ぞうさん」「一ねんせいに なったら」などを元気に歌った。

芸術文化との出会いの場を提供する移動文化教室は「木管五重奏メイプルハーモニーコンサート」「プロに学ぶ恵方巻きクッキング」を開催した。

サロンコンサートは「0歳から楽しむコンサート」を開催、幼少期から優れた演奏を間近で聴いてもらう機会を提供した。また芸術鑑賞講座として「クラシック鑑賞入門講座」を実施、芸術鑑賞への理解を深めてもらった。

周南市中学生芸術鑑賞会は、周南市中学校文化連盟と共催で劇団四季のミュージカル「ガンバの大冒険」を上演。多くの生徒が優れた舞台芸術に触れる機会を提供した。

この他、県の委託事業として「第66回中国・四国ブロック民俗芸能大会」、会員招待事業として「カーテンアップコンサートVol.2～周南ゆかりの若手演奏家たち～」を開催した。

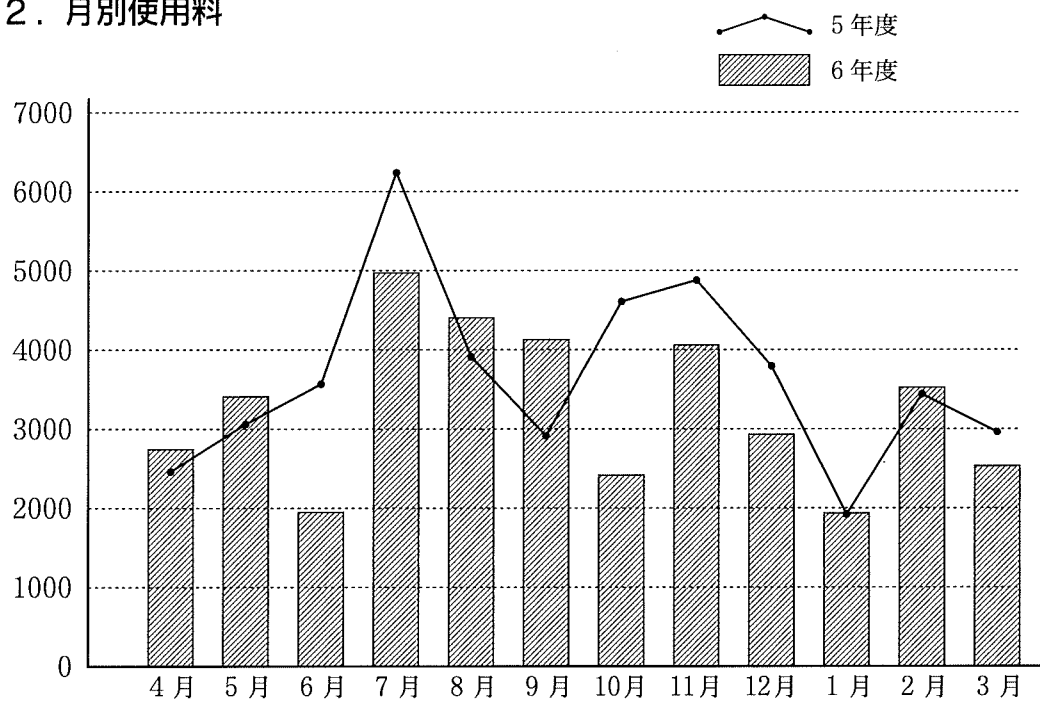
また中学校部活動地域移行に際し、周南市の受託事業として「周南市地域クラブ見本市・シンポジウム」を開催した。

参考資料

1. 施設別使用料

室 区 分	施設使用料	器具使用料	冷・暖房料	合 計	割 合
大ホール (楽屋)	17,761,630 ^円	10,543,680 ^円	1,947,360 ^円	30,252,670 ^円	77.5%
リハーサル室	1,719,750	114,680	208,060	2,042,490	5.2
練習室 1	744,550	199,240	134,900	1,078,690	2.8
練習室 2	607,650	69,970	74,730	752,350	1.9
練習室 3	585,290	43,640	38,310	667,240	1.7
地下展示室	732,120	264,810	49,120	1,046,050	2.7
和 室	645,040	23,460	69,430	737,930	1.9
3階展示室	1,675,640	605,710	163,910	2,445,260	6.3
食 堂	0	0	0	0	0.0
合 計	24,471,670	11,865,190	2,685,820	39,022,680	100.0
割 合	62.7%	30.4%	6.9%	100.0%	

2. 月別使用料



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年度	2,462	3,060	3,567	6,238	3,912	2,912	4,609	4,879	3,792	1,922	3,439	2,960	43,752
6年度	2,742	3,408	1,949	4,972	4,404	4,128	2,445	4,057	2,930	1,934	3,522	2,531	39,022

(単位 千円)

3. 施設別利用状況

区 分		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	
開 館 日 数	大 ホ ー ル	28	25	25	26	29	
	各 室	28	29	28	29	29	
大 ホ ー ル	使用日数(日)	7	11	4	21	12	
	件数(件)	6	9	3	24	6	
	使 用 率(%)	25.0	44.0	16.0	80.8	41.4	
リハーサル室	使用日数(日)	27	24	27	27	23	
	件数(件)	37	30	35	41	26	
	使 用 率(%)	96.4	82.8	96.4	93.1	79.3	
練 習 室 1	使用日数(日)	15	18	23	22	21	
	件数(件)	19	26	34	30	21	
	使 用 率(%)	53.6	62.1	82.1	75.9	72.4	
練 習 室 2	使用日数(日)	23	20	22	24	25	
	件数(件)	28	22	32	28	24	
	使 用 率(%)	82.1	69.0	78.6	82.8	86.2	
練 習 室 3	使用日数(日)	25	21	20	17	20	
	件数(件)	33	24	28	23	20	
	使 用 率(%)	89.3	72.4	71.4	58.6	69.0	
地 下 展 示 室	使用日数(日)	9	8	8	12	8	
	件数(件)	9	5	9	11	4	
	使 用 率(%)	32.1	27.6	28.6	41.4	27.6	
和 室	使用日数(日)	20	19	21	19	20	
	件数(件)	23	19	22	20	15	
	使 用 率(%)	71.4	65.5	75.0	65.5	69.0	
3 階 展 示 室	使用日数(日)	8	15	16	12	12	
	件数(件)	7	10	12	8	7	
	使 用 率(%)	28.6	51.7	57.1	41.4	41.4	
	日 数 合 計	134	136	141	154	141	
	件 数 合 計	162	145	175	185	123	
	使 用 率(%)	59.8	59.7	63.8	67.3	60.8	

利 用 者 数 (人)	7,303	10,574	7,494	16,461	15,681	
-------------	-------	--------	-------	--------	--------	--

9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
27	28	26	26	27	26	21	314
28	29	28	26	27	26	29	336
14	11	18	9	9	9	8	133
10	9	12	7	6	7	5	104
51.9	39.3	69.2	34.6	33.3	34.6	38.1	42.4
25	28	26	24	25	25	27	308
39	33	35	31	31	33	43	414
89.3	96.6	92.9	92.3	92.6	96.2	96.6	92.0
20	19	20	18	13	12	9	210
30	24	24	20	13	14	12	267
71.4	65.5	71.4	69.2	48.1	46.2	31.0	62.5
23	24	22	22	23	23	23	274
27	33	29	31	30	30	31	345
82.1	82.8	78.6	84.6	85.2	88.5	79.3	81.5
19	20	19	17	20	19	17	234
22	24	22	24	23	24	22	289
67.9	69.0	67.9	65.4	74.1	73.1	58.6	69.6
13	13	18	7	8	12	1	117
10	12	9	6	5	9	1	90
46.4	44.8	64.3	26.9	29.6	46.2	3.4	34.8
24	22	19	18	19	23	25	249
24	19	16	17	17	20	21	233
85.7	75.9	67.9	69.2	70.4	88.5	86.2	74.1
17	19	18	18	18	16	15	184
11	12	13	8	12	11	10	121
60.7	65.5	64.3	69.2	66.7	61.5	51.7	54.8
155	156	160	133	135	139	125	1,709
173	166	160	144	137	148	145	1,863
69.5	67.5	72.1	63.9	62.5	66.8	55.8	64.1
16,346	12,930	20,703	9,796	10,838	9,274	9,078	146,478

4. 大ホール催し一覧

	クラシック	ポピュラー	演劇・演芸・舞踊	
4 月		夢スター歌謡祭 夢スタ☆春・秋 浦島坂田船 Spring Tour 2024 ～四春祭～ Miho Nakayama Concert Tour 2024 -Deux-	徳山ライオンズクラブ チャリティー 石見神楽 ー左鐙社中ー	
5 月	第32回西京コンサート 大和証券グループPresents 佐渡裕指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団 with角野隼斗(ピアノ)	ゴールデンボンバー 「金爆はどう生きるか」 ～意外ともう結成20周年ツアー～ STU48 7 周年ツアー	周南市民劇場 劇団文化座 「命どう宝」	
6 月			DRUM TAO 2024 「FUTURE」	
7 月	出光興産主催 「みらいを奏でる音楽会2024」	梅沢富美男・研ナオコ 夢の共演	でんじろう先生のドキドキわくわくサイエンスショー しまじろうコンサート しまじろうとわくわくドーナツフェスティバル 周南市民劇場 劇団1980 「いちばん小さな町」	
8 月		Hiromi Go Concert Tour 2024 Initial G Haydn Sinfonietta Tokyo Nr.124 周防徳山オペラ・公演2024	ULTRAMAN NEW GENERATION THE LIVE スターズ編 in 山口 劇団四季創立70周年記念公演 ジーザス・クライスト=スーパースター [エルサレム・バージョン]	
9 月	高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト コンサートツアー 2024～2025	サーカス～心をつなぐハーモニー～ 思い出の名曲コンサート blast プラスト！	わんだふるぷりきゅあ！ ドリームステージ♪	
10 月	広島交響楽団×三浦文彰 周南特別公演	モーニング娘。'24コンサートツアー 秋 WE CAN DANCE！	周南市中学生芸術鑑賞会2024年度 “こころの劇場”周南公演 劇団四季ミュージカル 「ガンバの冒険」	
11 月		GORO NOGUCHI CONCERT TOUR 2024 Follow Your heart ～こころのままに～ 細川たかし長山洋子 ～ふたりのビッグショー～ 平井大 HIRAIDAI TOUR 2024 ASKA Travel TV Presents ASKA CONCERT TOUR 2024))2025 ーWho is ASKA!?!ー	周南市民劇場 「獅子の見た夢」劇団東演 吉本新喜劇65周年記念ツアー	
12 月		スキマスイッチ TOUR 2024-2025 “A muse Mentally”	しまじろうコンサート しまじろうとサンタのくいにのふしぎなプレゼント 周南市民劇場 ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ 「おれたちは天使じゃない」	
1 月	カーテンアップコンサートVol.2 ～周南ゆかりの若手演奏家たち～		周南市民劇場 劇団民藝 「グレイクリスマス」	
2 月	第18回yab吹奏楽コンサート 玉名女子高等学校 吹奏楽部	IMP. IMPERIAL LIVE TOUR 2025		
3 月			仮面ライダースーパーライブ2025 周南市民劇場 前進座 「文七元結」	

講 演 会	大会・式典	発 表 会	そ の 他
	周南公立大学令和6年度入学式		花まつり子供大会
	フレッシュリーフバレエ ダンスフェスティバル2024 令和6年度周南市戦没者追悼式 令和6年度周南市戦没者合同慰霊祭		令和6年度公益社団法人周南市シルバー人材 センター定時総会 令和6年度周南市民生委員児童委員協議会 総会
	ピティナピアノコンペティション 周南地区予選		山口県医学会総会 山口県医学会総会 市民公開講座 幸田浩子 ソプラノリサイタル
	「海の日」記念式典&吹奏楽コンサート	周南地区吹奏楽連盟サマーコンサート	令和6年度安全運転管理者等法定講習会 令和6年度山口県立徳山高等学校 学校説明会
第8回周南市認知症講演会	第63回全日本吹奏楽コンクール 山口県大会中学校の部 ピティナピアノコンペティション 中国4・中国デュオ3（周南）地区		
	岐山地区敬老の日記念行事 茶道裏千家淡交会中国地区つどい・ 周防支部80周年記念行事	第25回周南市民文化祭 文化を楽しむ会 周南フィルハーモニー管弦楽団 第20回定期演奏会 周南市立岐陽中学校 吹奏楽部 定期演奏会	徳山工業高等専門学校 創立50周年記念事業
	第66回中国・四国ブロック民俗芸能大会	徳山吹奏楽団 第40回定期演奏会 第18回周南邦楽連盟演奏会	第34回山口県地域人権問題フォーラム 令和6年度安全運転管理者等法定講習会
	第20回輝きクラブ周南高齢者振興大会 および周南市安全・安心推進大会	令和6年度周南市中学校音楽祭 ニューシティウインズ 13thコンサート 令和6年度周南市小学校音楽祭 第29回まど・みちおコスモス音楽会 附属光学園オータムコンサート	
		第47回西中国地区高専音楽祭 共楽保育園生活発表会 河原幼稚園遊戯会	
原晋氏 講演会 (公財)周南市スポーツ協会 総合設立20周年記念事業	令和6年度周南市二十歳の記念式典	徳山商工高等学校吹奏楽部 第11回定期演奏会 令和6年度周南地区吹奏楽連盟 新人演奏会	
第14回文化講演会 周南市ゆかりの人 戦史研究家 工藤洋三 講演会	周南市地域クラブシンポジウム 世代をこえて文化・スポーツを楽しもう ～部活動の地域移行に向けて～	若柳流宗家吉優美会舞踊乃会 和光保育園生活発表会	令和6年度住宅防火防災推進シンポジウム in周南
		周南フィルハーモニー管弦楽団 第21回定期演奏会 晃英館中学校・山口県桜ヶ丘高等学校 吹奏楽部 第3回定期演奏会 山口県立徳山高等学校吹奏楽部 第16回定期演奏会	

5. ホール事業

事業名	開催日	入場者	入場料	
中山美穂 Miho Nakayama Concert Tour 2024 -Deux-	6. 4.29	895人	全席指定 9,900円	
西京コンサート 新日本フィルハーモニー交響楽団 佐渡裕指揮with角野隼斗(ピアノ)	6. 5.24	1,719人	全席指定 S S 席 10,000円 S 席 8,500円 A 席 7,500円	
DRUM TAO 2024 2024新作舞台「FUTURE」	6. 6.22	975人	全席指定 S S 席 7,900円 S 席 6,900円	
梅沢富美男・研ナオコ 夢の共演	6. 7. 2 (2回公演)	① 1,297人 ② 917人 計 2,214人	全席指定 7,800円	
でんじろう先生の ドキドキわくわくサイエンスショー	6. 7.14 (2回公演)	① 958人 ② 737人 計 1,695人	全席指定 3,000円	
しまじろうコンサート しまじろうと わくわくドーナツフェスティバル	6. 7.21 (2回公演)	① 922人 ② 626人 計 1,548人	全席指定 3,480円	
郷ひろみ Hiromi Go Concert Tour 2024 Initial G	6. 8.11	1,530人	全席指定 11,000円	

内 容	反 響 ・ 反 省
2023年、24年ぶりとなるデビュー38周年アニバーサリーツアーを開催、今回はさらに規模を拡大してのツアーとなった。「世界中の誰よりきっと」などのヒット曲を熱唱した。	K R Y山口放送との共催。地元無料ペーパーに記事を掲載したりラジオに出演するなど広報に力を尽くしたが、券売は伸び悩んだ。
新日本フィルハーモニー交響楽団、佐渡裕指揮、角野隼斗のソロでチャイコフスキーの「ピアノ協奏曲」と「交響曲第5番」を演奏した。	西京銀行、西京教育文化振興財団、K R Y山口放送との共催。市内3社のご厚意で中学生100名を招待した。現在最も人気のある二人の共演ということで、会員発売初日には200人あまりの人が並び、チケットは早々に完売した。
和太鼓を中心に篠笛・三味線・箏などを使い圧倒的なパフォーマンスで表現するエンターテインメント公演。2024年は新作を掲げての迫力ある舞台となった。	T A O山口公演事務局との共催。大迫力の演奏で来館者を魅せていた。
梅沢富美男と研ナオコによる、笑いあり涙ありの人情芝居や歌謡ステージ、舞踊ショー。梅沢富美男劇団が総出演し、舞台を盛り上げた。	ソワードとの共催。中高年を中心に券売は順調で、楽しいひとときを過ごされていた。
教育とエンターテインメントを融合させたサイエンスショー。科学実験をショースタイルで表現、軽妙な語り口と身近なものを使った実験で会場は盛り上がった。	yab山口朝日放送との共催。ショーを通じて科学の楽しさに触れてもらえた。簡単な実験ができるグッズも多くの子どもたちが買い求めている。
子どもたちに大人気のキャラクターショー。物語が展開する前半と、歌とダンスが楽しめる後半のミュージカルショーで構成。	ベネッセコーポレーションとの共催。会館での販売はベネッセの意向で特別価格に設定。例年開催する恒例の公演で、楽しみに待っている方も多い。
デビュー50年目を迎えてなおパワフルで躍動感あふれるステージで観客を楽しませるアーティスト。「よろしく哀愁」「2億4千万の瞳」「お嫁サンバ」など20曲あまりを熱唱した。	キャンディープロモーションとの共催。初の試みとしてチケット引換券を発売し、当日指定席券と交換したが、他に電子チケット等もあり、交換場所の案内などがわかりにくく手間取ってしまった。

5. ホール事業（続き）

事業名	開催日	入場者	入場料	
ULTRAMAN NEW GENERATION THE LIVE スターズ編	6. 8.24 (2回公演)	① 340人 ② 265人 計 605人	全席指定 4,000円	
劇団四季 ジーザス・クライスト＝スーパースター [エルサレム・バージョン]	6. 8.25	1,346人	全席指定 S 席 10,000円 A 席 8,000円 B 席 5,000円	
わんだふるぷりきゅあ！ ドリームステージ♪	6. 9. 1 (2回公演)	① 1,047人 ② 1,154人 計 2,201人	全席指定 3,800円	
b l a s t プラスト！	6. 9.11	1,105人	全席指定 S 席 11,500円 A 席 9,500円 B 席 7,500円	
高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト コンサートツアー2024～2025	6. 9.15	1,676人	全席指定 7,700円	
広島交響楽団×三浦文彰 周南特別公演	6.10. 6	731人	全席指定 S 席 5,500円 A 席 4,500円 高校生以下(A席) 1,000円	
吉本新喜劇 65周年記念ツアー	6.11.10 (2回公演)	① 1,650人 ② 1,274人 計 2,924人	全席指定 6,800円	

内 容	反 響 ・ 反 省
特撮作品の舞台版。ウルトラマンアーク、ウルトラセブン、ウルトラマンゼロ、ウルトラマンジャックなどに加え、ウルティメイトフォースゼロ、ウルトラマンゼットほか多数登場した。	ハイヤーセルフとの共催。終始低調な券売推移であったが、観客は熱心に鑑賞していた。
イエス・キリストが十字架にかけられるまでの7日間を描いたミュージカル。音楽はアンドリュー・ロイド・ウェバー。演出家浅利慶太による、大胆に装飾を削り取った荒野を舞台とした「エルサレム・バージョン」を上演した。	K R Y山口放送との共催。豪華な舞台に圧倒的な歌唱と演技で観客を魅了、券売も上々でほぼ満席となった。
子どもたちに大人気のアニメ「わんだふる ぷりきゅあ！」の舞台版。みんなで楽しめる歌とダンスいっぱいのミュージカルショー。	劇団飛行船との共催。例年開催されており、子どもたちも楽しみにしている。
舞台いっぱいに金管楽器、打楽器、ダンサーたちが動き回り、迫力あるショーが繰り広げられた。	K R Y山口放送との共催。舞台を所狭しと歩き回りながらの演奏は大変楽しく感動的であった。チケット価格が高額であったためか満席とまではいかなかった。
高嶋ちさ子を中心に12人のヴァイオリニストが、クラシックの名曲など様々な曲をトークを交えて演奏した。	キャンディープロモーション、yab山口朝日放送他との共催。テレビでの知名度もありチケットは完売した。豪華な演奏と軽妙なトークで会場を沸かせた。
指揮とヴァイオリン三浦文彰による広島交響楽団のコンサート。三浦文彰の弾き振りでメンデルスゾーン「ヴァイオリン協奏曲」と、三浦文彰指揮で「ブラームス交響曲1番」を演奏した。	(公財)日本交響楽振興財団、K R Y山口放送との共催。券売は苦戦したが、文化会館ホールの良さを生かした演奏は素晴らしく、三浦文彰だけでなく広島交響楽団を印象づける公演となった。
1959年に「吉本ヴァラエティ」として発足し本年4月に65周年を迎えた吉本新喜劇の記念ツアー。前半はZAZZ、ぼる塾らによるコント、後半はレジェンド間寛平、女性座長酒井藍、山田花子らの出演による新喜劇で楽しませた。	tysテレビ山口との共催。期待に違わぬ楽しい公演で、観客も大変喜んでいて。券売も順調でグッズ販売も好調であった。

5. ホール事業（続き）

事業名	開催日	入場者	入場料	
野口五郎 GORO NOGUCHI CONCERT TOUR2024 Follow Your heart～こころのままに～	6.11.16	1,233人	全席指定 1階S席 8,800円 2階S席 5,500円 当日指定席交換券 3,500円	
平井 大 HIRAIKAI TOUR 2024	6.11.23	1,800人	全席指定 8,900円	
ASKA Travel TV presents ASKA CONCERT TOUR 2024)>2025 -Who is ASKA!?-	6.11.24	1,577人	全席指定 S 席 12,000円 A 席 9,000円	
スキマスイッチ TOUR 2024-2025 “A muse Mentally”	6.12. 1	1,473人	全席指定 9,000円	
しまじろうコンサート しまじろうと サンタのくにの ふしぎなプレゼント	6.12.21 (2回公演)	① 880人 ② 783人 計 1,663人	全席指定 3,480円	
yab吹奏楽コンサート 玉名女子高等学校 吹奏楽部	7. 2.15	1,004人	S 席 3,000円 A 席 2,500円	
仮面ライダースーパーライブ2025	7. 3. 9 (2回公演)	① 1,026人 ② 883人 計 1,909人	全席指定 3,800円	

内 容	反 響 ・ 反 省
郷ひろみ、西城秀樹と並ぶ新御三家の一人野口五郎の、文化会館初のコンサート。時代を経ても衰えぬ素晴らしい歌唱で「私鉄沿線」「甘い生活」などの名曲を披露した。	ギルド・ネクストとの共催。熱狂的なファンが多く、遠方からも訪れていた。プロモーターによるチケットの返券追加や価格の変更等の対応が大変だった。
ウクレレやアコースティックギターが奏でるサウンドで注目を集めるシンガーソングライター。全国ツアーの一環として開催した。	夢番地との共催。全国的に人気のあるアーティストで、文化会館では会員販売のみと券売数は少なかったが、補助席、立見も出るほどであった。
チャゲ&飛鳥として活躍し「SAY YES」「YAH YAH YAH」などで知られるシンガーソングライターASKAのソロ公演。「はじまりはいつも雨」「YAH YAH YAH」など20曲を熱唱した。	夢番地との共催。チケットはプロモーターの意向により、まず引換券を販売し後日座席入りのチケットと交換するという形をとったが、対応に手間がかかった。
「全力少年」などヒット曲で知られる大橋卓弥、常田真太郎2人のユニット。最新のサウンドとこれまでのキャリアを代表する楽曲を織り交ぜた全国ツアー。	ユニオンとの共催。人気グループの公演だけあって観客とステージが一体化し終始熱狂的であった。
子どもたちに大人気のキャラクターショー。物語が展開する前半と、歌とダンスが楽しめる後半のミュージカルショーで、クリスマスならではの構成であった。	ベネッセコーポレーションとの共催。会館での販売はベネッセの意向で特別価格に設定。今年度2回目の公演で、大勢の子どもたちが楽しんだ。
吹奏楽の普及と支援を目的にスタートしたyab吹奏楽コンサート。今回は熊本県の玉名女子高等学校吹奏楽部を招聘した。	yab山口朝日放送、山口県吹奏楽連盟との共催。パワフルな演奏で会場は熱気に包まれていた。全国の高校吹奏楽の今を知る良い機会となっている。
テレビで子どもたちに大人気の仮面ライダーシリーズの劇場版。音・光・アクションの連続で迫力あるステージとなった。	yab山口朝日放送との共催。テレビで見るスーパーヒーローの演技に子どもたちは夢中になった。終演後のライダーとの肘タッチ会も大好評であった。

6. 企画事業

事業名	開催日	会場	入場者	入場料	
出光興産主催 「みらいを奏でる 音楽会2024」	6. 7. 6	大ホール	1,100人	無 料	
～小さなお子さまから大人 の方までみんな一緒に～ 0歳から楽しむコンサート -Part 8-	6. 8.18	リハーサル室	① 56人 ② 46人 計 112人	全席自由 大人 1,000円 子ども 500円 3歳未満無料	
文化芸術講座 クラシック鑑賞入門講座 「ブラームス ～ベートーヴェンの 後継者として」 (受託事業)	6. 9.23	練習室 1	37人	無 料	
第66回 中国・四国ブロック 民俗芸能大会 (受託事業)	6.10.27	大ホール	600人	無 料	
文化芸術講座 周南市中学生芸術鑑賞会 劇団四季こころの劇場 ファミリーミュージカル 「ガンバの大冒険」 (受託事業)	6.10.31	大ホール	1,142人	無 料	
第29回まど・みちお コスモス音楽会	6.11.15	大ホール	1,600人	無 料	

内 容	反 響 ・ 反 省
出光興産が地域への文化貢献として開催する「みらいを奏でる音楽会」。指揮米田覚士、トロンボーン藤原功次郎、ピアノ北村明日人、タクティカオーケストラによる楽しい演奏会。	受付事務は前回から出光興産が担当した。ネット申し込みで戸惑われる方もいたがほぼ満席となった。
鑑賞機会の少ない乳幼児とその親を対象にした演奏会。フルート足立智子、オーボエ藤井浩子、クラリネット立川瑞穂、ファゴット藤田早苗、ホルン森口洋輔による木管五重奏で「まど・みちおメドレー」などを演奏した。	親しみやすい曲に加えクラシックの曲も演奏、楽器の紹介もあり、子どもたちだけでなく親御さんたちにも喜んでもらえた。昼敷きの会場は毎回好評である。
「広島交響楽団×三浦文彰周南特別公演」に連動した、コンサートをより楽しむための講座。講師に広島交響楽団チェロ奏者、染谷春菜氏を迎え、ブラームスの交響曲についての解説に加え、チェロの演奏も行った。	作曲家のエピソードや楽曲について、演奏家ならではの視点による解説は大変興味深かった。また生演奏も好評であった。
中四国9県10団体による民俗芸能の披露のほか、出演各県の紹介、AI技術により体験できるコーナー、周南郷土伝統芸能保存協会による周南市の伝統芸能紹介コーナーなどを設置した。	山口県委託事業。各県からの出演者の案内誘導、舞台進行、転換等について事前に綿密に打ち合わせ、順調に運営した。来館者の方々もなかなか見ることのできない各地の民俗芸能を堪能されていた。
感受性豊かな時期に本格的な舞台公演との出会いをと、周南市中学校文化連盟と共催で昭和63年から取り組んでいる。新型コロナウイルス感染症による中止や映像配信、大ホールでの映像上演を経て一昨年より実演となり、出演者とのふれあいもできた。	劇団四季が2008年から取り組んでいる企画「こころの劇場」により実現した。感受性豊かな若いときにホールで芸術を鑑賞することは貴重な体験になる。運営にあたっては教師との綿密な打ち合わせが必要である。
周南市出身の詩人まど・みちおの詩と歌で構成する心温まるコンサート。地元音楽グループによる創作舞台の前半と、市内の幼稚園、保育園の年長児によるまど・みちおの童謡歌唱の後半で構成した。	前半は毎回楽しい公演が行われ、後半は昨年の反省を踏まえ、グループごとに緞帳を降ろして時間の調整を行った。これにより園児の入れ替えも上手くいき、保護者も見逃しなく鑑賞できた。

6. 企画事業（続き）

事業名	開催日	会場	入場者	入場料	
移動音楽教室 「木管五重奏 メイプルハーモニー コンサート」 (受託事業)	6.11.19	沼城小学校	210人	無 料	
会員招待 カーテンアップコンサートVol.2 ～周南ゆかりの 若手演奏家たち～	7. 1.18	大 ホ ー ル	386人	全席自由 会 員 無 料 一 般 2,000円 高校生以下 1,000円	
文化芸術講座 バックステージツアー (受託事業)	7. 1.18	大 ホ ー ル	36人	無 料	
移動文化教室 「プロに学ぶ 恵方巻きクッキング」 (受託事業)	7. 2. 2	学び交流プラザ	40人	1,800円	
周南市地域クラブ 見本市・ シンポジウム (受託事業)	7. 2.23	大 ホ ー ル 館 内 各 室	500人	無 料	
月刊紙 「かるちゃあ通信花島」 発行	毎 月 1 回	(規格) A 4 サイズ	(発行数) 7,000部～ 10,000部	(用途) 会 員 用 一 般 用	

内 容	反 響 ・ 反 省
フルート足立智子、オーボエ藤井浩子、クラリネット立川瑞穂、ファゴット藤田早苗、ホルン森口洋輔による木管五重奏で「サウンドオブミュージックメドレー」などを演奏した。	前半低学年、後半高学年と2回演奏、皆熱心に鑑賞していた。会場の体育館が寒く、今後は鑑賞者や演奏者のコンディションを考慮して実施時期を検討する。
周南市出身の6人の若手演奏家、クラリネット野村友輝、谷口里菜、河口眞空、ファゴット河野友紀、ピアノ守田諭代、棟近綾奈による、財団会員招待のニューイヤーコンサート。	6人が色々な組み合わせで演奏した。合間の地元にちなんだトークも観客の心をつかんでいた。今後もシリーズとして続け、地元の演奏家の発表の場としたい。
「カーテンアップコンサート」終演後に実施。普段客席から見ることでできない舞台裏を紹介し、文化会館をより身近に感じてもらう企画として実施した。	オーケストラピットや奈落など、普段見ることのできない舞台装置を体験でき、喜んでもらえると同時に、舞台そのものに興味を持ってもらえた。
部活動の地域移行に関連して実施した。小学5、6年生、中学生対象。ホテルサンルート徳山の和食、洋食の料理長によるクッキング講座。時季に合わせて「恵方巻き」と「恵方巻きロールケーキ」を作った。	アンケートで希望が一番多かったことと、プロの指導ということで、皆熱心に体験していた。学校以外での部活動の新しいあり方を考える一助となった。
部活動の地域移行に関連して実施した。地域で行われている活動を紹介する見本市と、シンポジウムとして滋賀県守山市市民文化会館副館長・小森慎也氏の基調講演、地域で活動をしている方々によるパネルディスカッションを行った。	見本市には多くの小中学生や保護者が参加し盛況であった。シンポジウムでは有意義な意見が交わされ、今後の地域移行のあり方を考察する良い機会となった。見本市に比べシンポジウムの参加人数が減少したのは残念であった。
3館の主催・共催事業を中心に文化団体の記事を掲載、オールカラーで見やすくレイアウトし、ホームページにも掲載、積極的に情報発信に努めた。	自主事業への参加や施設の利用を高める総合的な文化情報紙。会員や公共施設にとどまらず、地域の店舗、飲食店等にも協力してもらい設置、一般の方が手に取る機会を提供した。

7. 文化振興財団会員の推移

種別	年度	56年度	57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	元年度	2年度	3年度	4年度
個	人	36	195	278	231	278	372	432	437	447	453	509	504
家族	件数	40	321	425	391	370	438	372	389	361	355	380	379
	人数	138	1,262	1,731	1,517	1,382	1,639	1,360	1,429	1,343	1,336	1,432	1,403
団体	件数	2	25	33	29	25	22	24	22	18	24	24	22
	人数	55	586	470	403	346	303	335	310	301	409	398	417
合計	件数	78	541	736	651	673	832	828	848	826	832	913	905
	人数	229	2,043	2,479	2,151	2,006	2,314	2,127	2,176	2,091	2,198	2,339	2,324

種別	年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
個	人	617	525	599	522	615	602	512	771	588	672	922	867
家族	件数	421	371	469	473	460	423	370	680	444	464	617	589
	人数	1,572	1,335	1,702	1,685	1,660	1,526	1,348	2,811	1,645	1,727	2,451	2,339
団体	件数	23	19	19	19	17	17	17	18	20	20	23	21
	人数	460	384	370	368	357	357	329	342	342	347	364	328
合計	件数	1,061	915	1,087	1,014	1,092	1,042	899	1,469	1,052	1,156	1,562	1,477
	人数	2,649	2,244	2,671	2,575	2,632	2,485	2,189	3,924	2,575	2,746	3,737	3,534

種別	年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
個	人	884	862	954	1,185	1,059	1,069	991	781	950	924	973	887
家族	件数	576	636	673	776	697	738	693	539	638	538	532	473
	人数	2,330	2,564	2,733	2,925	2,625	2,766	2,617	2,037	2,428	1,979	1,914	1,693
団体	件数	20	20	21	30	32	24	30	24	18	20	21	27
	人数	325	317	336	400	386	336	312	303	253	281	282	322
合計	件数	1,480	1,518	1,648	1,991	1,788	1,831	1,714	1,344	1,606	1,482	1,526	1,387
	人数	3,539	3,743	4,023	4,510	4,070	4,171	3,920	3,121	3,631	3,184	3,169	2,902

種別	年度	29年度	30年度	31年度 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
個	人	974	1,054	1,031	688	618	527	594	667
家族	件数	521	519	528	380	303	230	270	259
	人数	1,814	1,786	1,777	1,291	1,055	772	893	842
団体	件数	27	25	23	22	19	15	18	16
	人数	333	304	300	298	236	195	252	235
合計	件数	1,522	1,598	1,581	1,090	940	772	882	942
	人数	3,121	3,144	3,108	2,277	1,909	1,494	1,739	1,744

2. 美術博物館

美術博物館は、県東部における国宝が展示できる本格的な博物館施設として平成7年に開館し、美術、写真、歴史の3部門をもつ専門施設として、その特色を生かすためにさまざまな事業を展開した。自主事業として行う企画展覧会のほか、常設展示室の運営及び資料収集、調査研究並びに教育・普及事業等それぞれの目的にそって実施した。

林忠彦賞は、第32回の授賞式、受賞記念写真展、第33回の募集、選考、発表を行った。

(1) 管理運営事業

文化活動の拠点にふさわしい施設の管理や環境整備に努めた。

グッズ売場では、展覧会に関連した商品を販売するなど内容の充実を図り、喫茶事業でも、展覧会にあわせた期間限定メニューの提供など、話題づくりや来館者の満足度を高めることに努めた。さらに、多様な機能を知ってもらい、かつ身近な施設として親しまんでもらえるよう、ロビーを活用しサロンコンサートを開催した。

(ア) 施設の整備

貴重な美術品等を収蔵、展示することから特に空調には細心の注意をはらい、年間をととして適正な環境保持に努めた。虫やカビの駆除のため、2年に1度実施している収蔵庫の燻蒸を行った。また市の公共施設等LED照明設備賃貸借事業に基づきLED照明への改修が行われた。

(イ) 施設の利用状況

令和6年度の年間入館者数は、常設展示室22,149人、企画展示室24,740人で、展示室の一般貸出入館者等を含めた総数は53,850人であった。

常設展示室は258千円の観覧料収入、企画展示室は1,942千円の使用料収入があった。

開館日数は305日、開催前後の準備期間等を含めた総使用日数は202日で、利用率は66.2%であった。

平成8年度から実施している企画展示室の一般貸出は、令和6年度は11件であった。また施設見学については、72団体を受入れた。

(ウ) 博物館協会

山口県博物館協会などに主要メンバーとして参加し、定期的に他館との情報の交換や交流を図っている。夏休みの期間には、県立山口博物館の企画「やまぐち『ミュージアムリレー』2024」のスタンプラリーとコラボレーションし、連携を図った。

(2) 展覧会事業

特別展覧会は、「谷川俊太郎 絵本★百貨展」を開催した。詩人・谷川俊太郎の絵本約20冊を特集し、絵や言葉が動き出す映像、朗読や音、巨大な絵巻、書き下ろしのインスタレーション作品などを展示した。

企画展覧会は、「宮西達也の世界 ミラクルワールド絵本展」を開催した。絵本原画だけでなく作家活動の原点ともいえる学生時代の作品や作画技法の解説なども展示し、宮西達也の創作の秘密にせまった。

「しゅうなんアート・ナウ2024」は地域で活躍する作家の新作を展示し、周南美術の“今”を紹介した。

「周南市美術展2024」は、開催時期を秋から2月に変更したことも功を奏してか、高校生等の出品が大幅に増え、活気ある展示内容となった。

(3) 企画事業

美術博物館講座としては、「美術博物館探検ツアー」と「まどさんについてのおはなし会」を実施した。

常設展管理運営事業のうち、コレクション展示室ではコレクション展として「“The Color”」「小さなしあわせ♡」「戦後80年を迎えて」を開催した。林忠彦記念室は、林芸術の全容がわかるセンター施設として事業を行っており、今年度は、「旅路のいろいろ」「織田廣喜」「長州路」「戦時下の日本」のテーマで展示した。「まど・みちおコーナー」では、絵画作品や文学関係資料を定期的に展示替えしながら紹介した。歴史展示室特設コーナーでは、「徳山毛利家の端午飾り」「没後140年 徳山藩九代藩主 毛利元蕃」「描かれた児玉源太郎」「山陽新幹線開通50周年記念 徳山駅のあゆみ」のテーマでゆかりの資料を紹介し、リピーターの確保に努めた。

林忠彦賞については、周南市において第32回受賞作「BENZO ESQUISSES 1920-2012」（奥山淳志氏）の授賞式、受賞記念写真展を開催したほか、第33回林忠彦賞の募集、選考を行い、東京都在住の鶴巻育子氏の「ALT」が受賞した。周南市学校美術展は市内の小中学校、幼稚園、保育園が参加する総合美術展として実施した。資料収集事業については、資料収集候補案を収集委員会に諮り、承認を得た。

また、市から戦争体験映像化業務の委託を受け、戦争体験者4名に取材し、その証言をまとめた映像制作にあたり監修を担当した。

情報発信については、「広報しゅうなん」や「かるちゃあ通信花畠」のほか、ホームページを随時更新し、SNSで展覧会情報、喫茶の期間限定メニューや館周辺の季節の話題など、リアルタイムで情報を発信した。またシティーケーブル周南の協力で美術博物館の番組「びびびの美」を放映し、美術博物館の仕事や収蔵品、展示等の情報を提供した。

参考資料

1. 常設展入場状況

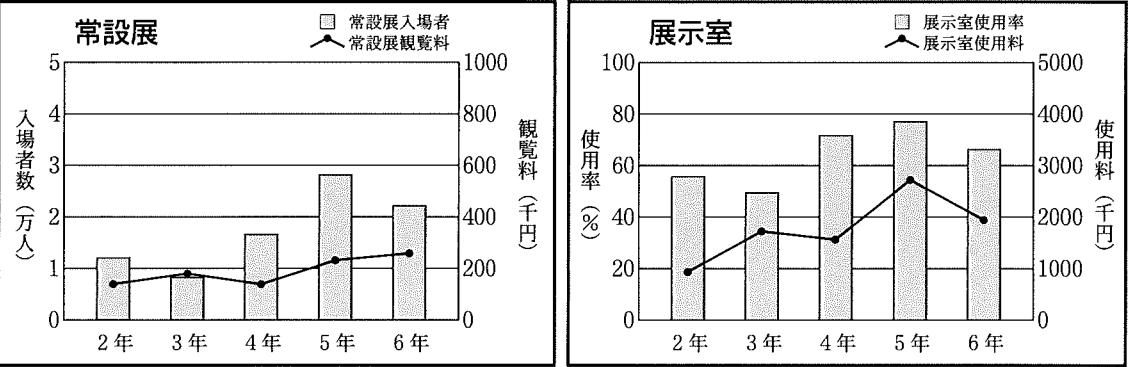
※燻蒸作業のため令和6年9月8日から9月10日まで臨時休館

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
有料入場者	80	193	116	21	58	119	52	66	139	156	179	143	1,322
無料入場者	853	95	1,004	3,634	5,660	1,113	2,168	5,933	68	73	121	105	20,827
入場者合計	933	288	1,120	3,655	5,718	1,232	2,220	5,999	207	229	300	248	22,149
観覧料収入	15,300	36,400	22,500	4,100	11,600	23,100	10,120	12,960	27,700	31,000	35,400	28,300	258,480

2. 展示室使用状況

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
展示室1	開館日数	25	27	26	26	27	23	27	26	24	24	24	26	305
	使用日数	10	6	7	26	27	5	27	21	14	13	23	23	202
	使用率(%)	40.0	22.2	26.9	100.0	100.0	21.7	100.0	80.8	58.3	54.2	95.8	88.5	66.2
展示室2	開館日数	25	27	26	26	27	23	27	26	24	24	24	26	305
	使用日数	10	4	4	26	27	5	27	21	9	6	23	23	185
	使用率(%)	40.0	14.8	15.4	100.0	100.0	21.7	100.0	80.8	37.5	25.0	95.8	88.5	60.7

展覧会名	期 間	日 数	展示室1	展示室2	合 計
第32回林忠彦賞受賞記念写真展	4/19～4/29	10	96,420 ^円	96,420 ^円	192,840 ^円
第3回山口一水会展	5/9～5/12	4	39,360	39,360	78,720
第16回書苑展	5/25～5/26	2	19,680	0	19,680
菊川陶芸30年のあゆみ展 創造 その先へ	6/14～6/16	3	29,520	0	29,520
宮西達也の世界 ミラクルワールド絵本展	6/27～9/1	58	568,740	568,740	1,137,480
谷川俊太郎 絵本★百貨展	9/26～11/24	52	0	0	0
令和6年度周南市学校美術展	12/5～12/10	5	0	0	0
第20回周南書道連盟展	12/12～12/15	4	34,760	34,760	69,520
第61回二科会写真部山口支部公募写真展	12/18～12/22	5	44,600	0	44,600
第17回周南美術連盟展	1/10～1/13	4	39,360	39,360	78,720
第19回周南陶芸連盟展	1/17～1/19	3	24,920	0	24,920
第50回記念山口県写真作家集団会員展	1/23～1/26	4	39,360	0	39,360
第22回周南市美術展2024	1/30～2/24	23	0	0	0
アトリエ陽だまり・グループ万葉会水彩画展	2/27～3/2	4	39,360	39,360	78,720
第24回書游会展	3/7～3/9	3	24,920	24,920	49,840
しゅうなんアート・ナウ2024	3/11～3/25	13	0	0	0
よつ葉の会作品展	3/26～3/30	5	49,200	49,200	98,400
合 計		202	1,050,200	892,120	1,942,320



3. 展覧会事業

事業名	開催日	会場	入場者	入場料	
「宮西達也の世界 ミラクルワールド絵本展」	6. 6. 28 ～ 9. 1	美術博物館 展示室 1. 2. 3	10,782人	一般 1,200円 大学生 1,000円 18歳以下および 身障者は無料	
「谷川俊太郎 絵本★百貨展」 (受託事業)	6. 9. 27 ～ 11. 24	美術博物館 展示室 1. 2. 3	8,368人	一般 1,300円 大学生 1,000円 18歳以下および 身障者は無料	
第22回 周南市美術展2024 (受託事業)	(前期) 7. 2. 12 ～ 2. 16 (後期) 7. 2. 19 ～ 2. 23	美術博物館 展示室 1. 2. 3	1,845人	無 料	
しゅうなん アート・ナウ2024 (受託事業)	7. 3. 15 ～ 3. 23	美術博物館 展示室 1. 2. 3	854人	無 料	

内 容	反 響 ・ 反 省
40年にわたり、優しさと思いやりあふれる魅力的な絵本を作り続ける絵本作家、宮西達也。その絵本原画、作家活動の原点ともいえる学生時代の作品、作画技法の解説など300点以上を展示し、創作の秘密に迫った。会期中に、宮西氏によるギャラリートーク(3回)・講演会&サイン会(3回)・ライブペインティング・読み聞かせ(2回)をはじめ、多数のイベントを実施した。	初公開の最新作の絵本原画をはじめ、制作過程を知ることができるラフスケッチ、ジオラマ、学生時代の作品、屏風や段ボールアートなどを通して、宮西氏の作品世界や創作について紹介した。フォトスポットでの記念撮影も人気だった。長年にわたり活躍している絵本作家ということもあり、幅広い年齢層の方が訪れた。
谷川俊太郎の約20冊の絵本を特集し、絵や言葉が動き出す映像、朗読や音、巨大な絵巻、書き下ろしのインスタレーション作品など約60点を展示した。会期中、周南市出身で谷川氏との共著もある歌人の木下龍也氏の講演会、谷川氏やまど・みちおとも一緒に仕事をした編集者の市河紀子氏の講演会を実施した。また、学芸員による一般向けギャラリートークを2回、部活動の地域移行に関連し中学生向け鑑賞会を2回実施した。	音や映像、立体物など体験型の展示で、タイトルから内容が想像しづらかったためか、当初入場者が伸び悩んだ。来場者には、絵本の世界観を体感できることが、好評であった。特に小さな子ども連れの来場が多かった。また、講演会の他、常設展で谷川氏とまど・みちおの交流を紹介するなど、独自企画も反響があった。会期終了間近に谷川氏の訃報が報じられ、氏を偲んで県内外からも多くの来館者があった。
周南市に在住・在勤・在学、または市内の文化講座・文化団体に所属する人を対象とした総合美術展。平面、立体、書、写真の4部門で278点の応募があった。公開審査を実施した。市美展大賞は書部門、吉本美和子さんの「行書千字文」に決定した。	開催時期を秋から2月に変更したことも功を奏してか、応募点数、入場者数ともに昨年度よりも増加した。高等学校の美術部などへの周知を強化した効果もあり、特に10代の応募点数が増加した。事前申込や作品の搬入・搬出の時間指定も定着し、効率よく進めることができた。
周南市を中心に広く活躍する作家の作品、平面、立体、書、写真あわせて76点を展示した。作品の搬入・搬出の時間指定も定着し、効率よく進めることができた。	じっくり鑑賞し、見ごたえを感じてもらえるよう展示のレイアウトを工夫した。今回から平面の規格を150号以内から300号以内に変更したことで出品作には大作もあった。コロナ禍に比べると明るい色使いの作品も増え、会場全体が華やかな雰囲気包まれた。出品数・入場者数ともに昨年度よりも増加した。

4. 企画事業

事業名	開催日	会場	入場者	入場料	
美術博物館講座 (一般・美術部門) 美術博物館探検ツアー	7. 2. 16	美術博物館 講座室	13人	無 料	
美術博物館講座 (美術部門) まどさんについてのおはなし会	7. 3. 1	美術博物館 講座室	43人	無 料	
コレクション展示室 〔常設展管理運営〕	6. 4. 1 ～ 7. 3. 31	美術博物館 展示室 3	22,149人	一 般 200円 (160) 大学生等 100円 (80) ()内は20名以上の団体 18歳以下および 70歳以上無料 身障者等は無料	
林忠彦記念室		美術博物館 展示室 4			
歴史展示室		美術博物館 展示室 5			
まど・みちおコーナー					

内 容	反 響 ・ 反 省
部活動の地域移行に関連し、美術博物館や学芸員の仕事に興味をもってもらうため、ふだん見ることのできない館の裏側を紹介。対象は小学4、5、6年生、中学生とその保護者。収蔵品の紹介や美術品の扱い方などを説明した後、トラックヤードや空調設備などを見学。箱のひもを結ぶ実習を行った。家でも親子で話しながら美術博物館の裏側を知ってもらえるよう参加者に冊子を配布した。	探検中、各ポイントでクイズを実施したことが参加者から好評だった。「美術博物館の裏側を身近に感じることができる良い機会になった」という感想もあり当館に対して親しみを持ってもらえるきっかけとなった。今後もこのような活動を続けていきたい。
毎年まど・みちおの命日にちなんで開催している。今回はまどさんと親交の深かった神沢利子氏の長女、山田ルイ氏を招いて講演会を開催した。命日の2月28日は平日のため、土曜日の3月1日に実施した。恒例の「まど・みちおさんありがとう」缶バッジを配布した。	詩人で児童文学者だったお母様とまどさんとのエピソードや、まどさんからの手紙の紹介など、とても興味深い話を聞くことができた。まどさんの人柄を垣間見ることができ、ことばの新たな魅力を発見することもできた。
5.2.1～6.16 「コレクション展 “The color”」 前期(2/1～4/29) 31点 後期(5/1～6/16) 32点 12.14～1.26 「コレクション展～小さなしあわせ♡」 26点 3.26～6.15 「コレクション展 戦後80年を迎えて」 36点	カラフル、モノトーン、シック、ポップなどの色の特徴に注目した“The color”。宮崎進をはじめ、松田正平、久保克彦など山口ゆかりの作家の作品を中心に紹介した。アンケートを実施し、好きな作品とその理由を考えることで、しっかり作品を鑑賞してもらうことができた。各コレクション展ごとに、テーマにそった作品を展示し、収蔵品の魅力を紹介した。
日本を代表する写真家・林忠彦を顕彰するために、ふるさと独自の資料を公開。林ファンのセンター施設として位置づけている。今年度は、「旅路のいろいろ」「織田廣喜」「長州路」「戦時下の日本」のテーマで展示した。	テーマごとに違ったジャンルの林忠彦作品を紹介することでリピーターが増えるよう努めた。テーマの設定も興味をひくよう工夫した。展示内容については情報紙やホームページ、SNS、市広報、ケーブルテレビなどで、積極的に告知した。
徳山の古代から現代までの歴史を実物資料やレプリカ、グラフィックパネルで紹介。特設コーナーでは、「徳山毛利家の端午飾り」「没後140年 徳山藩九代藩主 毛利元蕃」「描かれた児玉源太郎」「山陽新幹線開通50周年記念 徳山駅のあゆみ」のテーマで周南ゆかりの資料を紹介した。	ふるさとの歴史を身近に感じてもらえるよう、テーマを工夫した。特に「徳山駅のあゆみ」の展示は関心が高く、新幹線にまつわる資料の提供など資料収集にも結びついた。また情報紙やホームページ、SNS、市広報、ケーブルテレビでも積極的に告知した。
当館が所蔵する絵画作品や文学関係資料を定期的に展示替えしながら紹介した。谷川展に合わせて、まど氏から谷川氏へ宛てたはがきを展示した。 また、まど・みちお顕彰事業の一環として、11月と2月に周南市立徳山駅前図書館の主催で有田館長が講座を行った。	平田本陣記念館(島根県出雲市)で6.3.9～5.6まで巡回展「まど・みちおのうちゅう」を開催。常設展の内容については、財団の情報紙だけでなく、ホームページ、SNS、市広報(年3回「まど・みちおのえ」掲載)、ケーブルテレビでも積極的にPRした。

4. 企画事業（続き）

事業名	開催日	会場	入場者	入場料	
周南市学校美術展	6.12. 6 ～12. 8	美術博物館 展示室 1. 2. 3	2,098人	無 料	
第32回林忠彦賞 授賞式 受賞記念写真展	授賞式 6. 4. 20 周南展 6. 4. 20 ～ 4. 29	周 南 市 ・ 遠 石 会 館 美術博物館 展示室 1. 2	120人 793人	無 料	
第33回林忠彦賞 選考及び発表	選考委員会 7. 1. 22 受賞者発表 7. 3. 5	東 京 周 南	—— ——	—— ——	
資料収集事業	通 年	——	——	——	

内 容	反 響 ・ 反 省
周南市内の幼稚園・保育園の園児、小中学校の児童・生徒の作品を展示。美術教育の振興を図った。観覧をわかりやすくするため、1階に小中学生、2階に幼稚園・保育園児の作品を配置した。	来場者は昨年よりやや多かった。絵画はじっくり丁寧に描かれた作品が多く、子どもたちの創造力の豊かさに驚かされた。立体はカラフルな色使いのものが多く、作品からも楽しみながら作ったのが伝わってきた。
第32回林忠彦賞、奥山淳志氏の『BENZO ESQUISSES 1920-2012』は、授賞式を周南市で実施。受賞記念写真展は当館と北海道の東川町文化ギャラリー（7.1.17～1.30）で開催した。本作は北海道に暮らす井上弁造さんに出会った作者が、その生き方に感銘を受け、長年にわたり取材したドキュメンタリーである。弁造さんが遺した絵を通して、彼の心情や思いを読み解いていこうとする斬新な表現が高く評価された。	これまで東京で開催していた授賞式を今回から周南市で行なった。二部構成とし、第一部の授賞式では選考委員長の大石芳野氏や選考委員の河野和典氏、小林紀晴氏をはじめ、一般の方々も多く集まり奥山氏の受賞をお祝いした。第二部では大石氏の講演会を開催。翌日には美術博物館で奥山氏のトークショーを行った。授賞式や写真展、イベントなど、市民とともに林賞を盛り上げることができた。
第33回受賞作は、鶴巻育子氏の写真集・写真展「ALT」（オルト）に決定した。視覚障害者への取材を通じて「見る」ということをテーマに制作した作品。今までに試みられたことのないテーマで、見える自分が見えない彼らと違うのか、同じなのか、彼らがどういう世界の中にいるのか想像力をもって具体的に進めたことが意義深いと高く評価された。	本年は81点の応募があった。ドキュメンタリーからアートまで多岐にわたり見応えのある作品が並んだ。ここ数年コンセプトに基づいた写真表現が目立ち、今回林賞に輝いた鶴巻氏の「ALT」もその1つといえる。林賞の周知のため、今回からポスターを作成し市内外各所に配布。市役所1階の市民ロビーにも特設コーナーを設置。また歴代受賞作品パネルを制作し、シビック交流センター2階や徳山駅で展示するなど林賞がより多くの市民の目に触れるようPRに努めた。
周南市の資料収集（購入、寄贈、寄託等）を円滑に進めるための付帯業務全般。今年度は美術部門の大庭学僊、小田海僊、森寛斎、高島北海、松林桂月の作品購入、宮崎進、岸田劉生、河上大二、前田麦二の作品寄贈。写真部門は第31回と第32回の林忠彦賞受賞作品の寄贈、歴史部門は児玉源太郎書の購入、寄贈を収集委員会に諮り、承認を得た。	新しく収集した資料については、保管および調査研究に努め、常設展等でも紹介するほか、他館への貸出等にも活用したい。

3. 郷土美術資料館

郷土美術資料館・尾崎正章記念館は、平成7年に開館、令和6年度は開館29年目となった。今年度は年度初めから2025年1月10日まで空調設備工事のため臨時休館し、その間空調工事終了後の12月に燻蒸作業を行い、収蔵や展示などの適切な環境づくりに努めた。

(1) 施設の利用状況

令和6年度は空調設備工事による臨時休館のため、年間入館者数は1,319人、ワークルームは714人であった。

(2) 事業等

空調設備工事による臨時休館のため、常設展、企画展ともに1回の開催となった。尾崎正章常設展は、「その軌跡をたどる」を、企画展では、「遠藤春生絵画展～或る星の下に」を開催した。

「広報しゅうなん」や「かるちゃあ通信花畠」で情報を提供するとともに、ホームページを随時更新し情報を発信した。またシティーケーブル周南の協力で、「びびびの美」で紹介し、その後YouTubeにアップした。

参考資料

1. 入場状況

※令和6年4月1日から令和7年1月10日まで空調設備工事のため臨時休館

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ワークルーム(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	293	325	96	714
有料入場者(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	77	113	31	221
無料入場者(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	186	157	41	384
入場者合計(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	556	595	168	1,319
観覧料収入(円)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,400	22,500	6,200	44,100

2. 展示室使用状況

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大展示室	開館日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	24	4	46
	使用日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	24	4	46
	使用率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
中展示室	開館日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	24	4	46
	使用日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	24	4	46
	使用率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
小展示室	開館日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	24	4	46
	使用日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	24	4	46
	使用率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
ワークルーム	開館日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	24	4	46
	使用日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	24	4	46
	使用率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0

展覧会名	期 間	日数	大展示室	中展示室	小展示室	ワークルーム	合 計
遠藤春生絵画展～或る星の下に	1/11～3/2	44	円	円	円	円	0円
林忠彦写真展「世界と日本のこころ旅(世界編)」	3/29～3/31	2					0
合 計			0	0	0	0	0

4. 庶務事項

(1) 組織

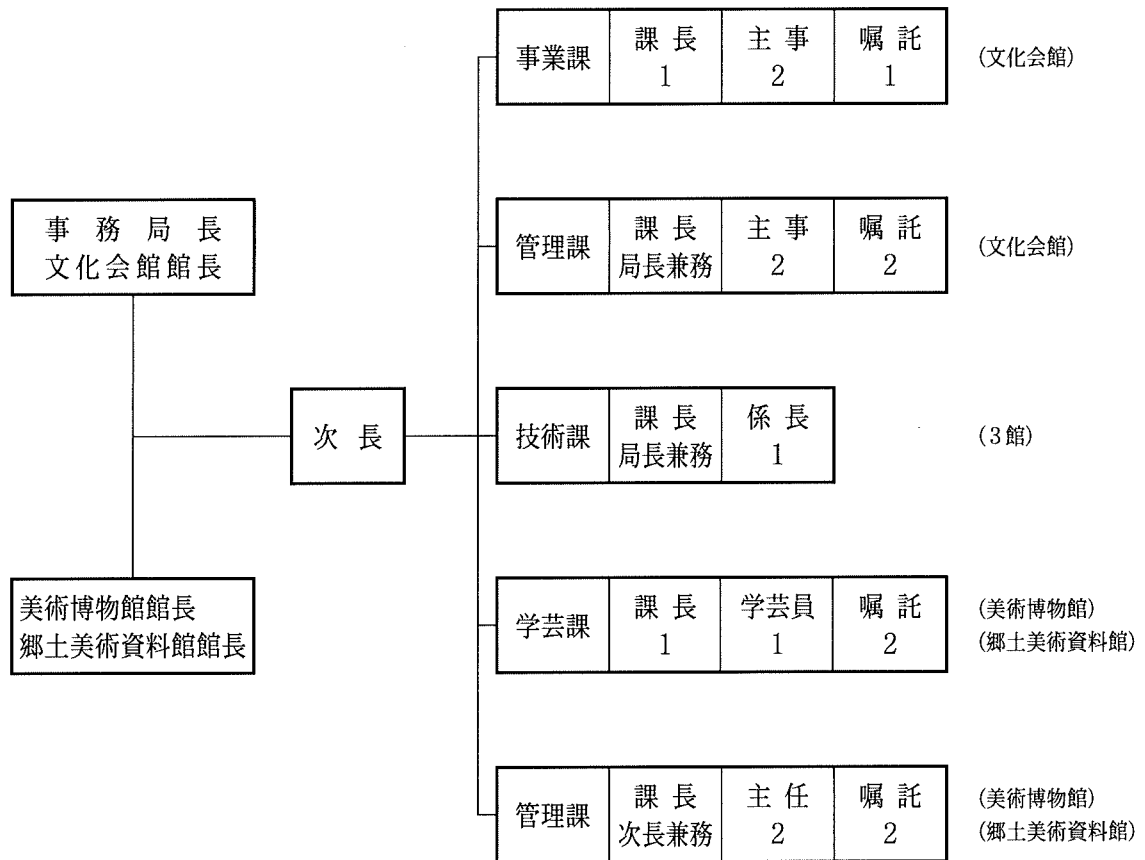
ア. 評議員

氏 名	就任・重任	辞 任
黒 神 直 大	3 . 6 . 16	
清 水 孝 子	〃	
厚 東 和 彦	4 . 3 . 23	
山 下 武 右	3 . 6 . 16	

イ. 理事及び監事

役 員	氏 名	就任・重任	退 任
理 事 長	藤 井 律 子	5 . 6 . 26	
理 事	有 田 順 一	〃	
〃	岩 田 幸 雄	〃	
〃	岡 崎 昌 子	〃	
〃	小 田 み づ 糸	〃	
〃	河 村 純 一 郎	〃	
〃	宮 本 治 郎	〃	
監 事	秋 山 一 正	3 . 6 . 16	
〃	山 下 敏 彦	〃	

ウ. 事務局



(2) 会議の開催

ア. 評議員会

開催年月日	議 案
6 . 6 . 20	① 令和 5 事業年度事業報告及び収支決算
6 . 8 . 3	① 事件の全容 ② 再発防止策 ③ 責任の所在 ④ 民事訴訟の委任 ⑤ 全容報告会見の実施
7 . 3 . 6	① 令和 7 事業年度事業計画及び収支予算 ② 資金調達及び設備投資の見込み ③ 基本財産の積み立て

イ. 理 事 会

開催年月日	議 案
6 . 5 . 31	① 代表理事の職務の執行の状況報告 ② 令和 5 事業年度事業報告及び収支決算 ③ 定時評議員会の招集
6 . 7 . 30	① 事件の全容 ② 再発防止策 ③ 責任の所在 ④ 民事訴訟の委任 ⑤ 全容報告会見の実施 ⑥ 評議員会の招集
7 . 2 . 13	① 代表理事の職務の執行の状況報告 ② 「組織規程」「就業規則」「嘱託職員就業要綱」ならびに「育児休業及び育児短時間勤務に関する規程」の一部改正 ③ 令和 7 事業年度事業計画及び収支予算 ④ 資金調達及び設備投資の見込み ⑤ 基本財産の積み立て ⑥ 評議員会の招集

(3) 登記及び届出

ア. 登 記
登記事項なし

イ. 主務官庁への届出

届出年月日	届 出 事 項
6 . 6 . 27	令和 5 年度事業報告書及び決算書
7 . 3 . 26	令和 7 年度事業計画書及び収支予算書

5. 令和 6 事業年度事業報告について

令和 5 事業年度に明らかになった不祥事については、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当し、本年度、全容が解明したことから詳細を以下に報告する。

不祥事への対応について

1. 事案の概要

- (1) 元職員 A（男性、50代、事業課係長）が、平成17年頃から令和 5 年 5 月頃までの間、複数回にわたり、当財団事務所の金庫等に保管されていた現金を窃取し、またチケットの売上金回収業務において集金した売上金を横領した上、競馬の賭け金等として費消していた。また休職を命ぜられたのちも売上金回収を行った。
- (2) 元職員 B（男性、60代、管理課主幹）が、職員 A による窃盗・横領行為を認識していたにもかかわらず、財団にこれを報告することなく、基本財産、退職手当積立金等無断で取り崩して元職員 A の犯行により発生した損害を隠し、更に定期預金の残高証明書を偽造し、虚偽の決算報告書、財務諸表等を作成した。
- (3) 財団は元職員 A 及び元職員 B を刑事告訴し、元職員 B は有罪が確定し、職員 A は詐欺罪で現在も公判中である。

2. 経過

(1) 財団

- 令和5年5月7日 職員が金庫内の現金の不足に気づく
- 10日 令和5年3月31日に退職した元職員Bの申し出により事件が発覚
内部調査を開始
- 13日 元職員Aを休職とする
同日より17日まで元職員Aによる詐欺被害発生
- 19日 周南警察署に対応を相談
弁護士、公認会計士ら外部の識者と調査を開始
- 6月19日 山口県学事文書課に報告
- 7月13日 元職員Aについて詐欺罪で告訴状提出
- 19日 当該事件発生について記者会見
- 8月12日 元職員Aを懲戒免職
- 31日 山口県学事文書課による立入検査
- 9月15日 元職員Aについて業務上横領罪で告訴状提出
元職員Bについて有印私文書偽造・同行使罪で告発状提出
- 10月4日 文化スポーツ課による指定管理業務にかかる実地調査①
- 令和6年1月22日 文化スポーツ課による指定管理業務にかかる実地調査②
- 2月22日 山口県公益認定等審議会に報告書を提出①
- 8月6日 山口県公益認定等審議会に報告書を提出②
- 7日 当該事件の全容について記者会見
- 9月3日 周南市監査委員による財政援助団体等監査に係る保管金等の実査
- 22日 周南市監査委員による財政援助団体等監査 書類提出
- 10月11日 山口県公益認定等審議会に報告書を提出③
- 17日 元職員A、元職員Bに対し損害賠償請求を提訴
- 31日 周南市監査委員による財政援助団体等監査 結果講評

(2) 理事会（不祥事関係）

- 令和5年6月9日 弁護士同席で、当財団事務局より事件の概要を報告
- 令和6年2月15日 内部調査結果・刑事手続進捗状況を報告
暫定的な再発防止策について協議
- 5月31日 刑事手続進捗状況を報告
- 7月30日 刑事手続進捗状況を報告
本件事案全容及び再発防止策について決議
責任の所在について決議

令和 7 年 2 月 13 日 再発防止に係る一部規程の改正を決議
公判の状況及び再発防止策の進捗を報告

(3) 評議員会（不祥事関係）

令和 5 年 6 月 26 日 弁護士同席で、当財団事務局より事件の概要を報告
令和 6 年 3 月 14 日 内部調査結果・刑事手続進捗状況を報告
暫定的な再発防止策について協議
6 月 20 日 刑事手続進捗状況を報告
8 月 3 日 刑事手続進捗状況を報告
本件事案全容及び再発防止策について決議
責任の所在について決議
令和 7 年 3 月 6 日 公判の状況及び再発防止策の進捗を報告

(4) 告訴・告発関係

《元職員 A》

令和 5 年 7 月 13 日 告訴状提出（詐欺）
9 月 15 日 告訴状提出（業務上横領）
10 月 11 日 受理
令和 6 年 6 月 4 日 逮捕（詐欺）
24 日 起訴（詐欺）
7 月 29 日 第 1 回公判
10 月 15 日 再逮捕（業務上横領）
12 月 25 日 第 2 回公判
26 日 不起訴（業務上横領）
令和 7 年 3 月 25 日 第 3 回公判

《元職員 B》

令和 5 年 9 月 15 日 告発状提出（有印私文書偽造・同行使）
10 月 11 日 受理
令和 6 年 5 月 15 日 起訴
6 月 13 日 追起訴
7 月 19 日 第 1 回公判
23 日 追起訴
9 月 18 日 第 2 回公判
11 月 18 日 第 3 回公判
12 月 10 日 第 4 回公判
令和 7 年 1 月 14 日 第 5 回公判 懲役 3 年（執行猶予 5 年）の判決

3. 関係者の処分

元職員A：令和5年8月12日 懲戒免職

監督責任者 元事務局長(理事)：令和6年8月9日 1/10減給 1ヶ月

事務局長：令和6年8月9日 1/10減給 1ヶ月

4. 損害額の認定

当財団における認定損害額 1億5066万8988円

元職員Aが、平成17年頃から令和5年5月頃までの長期間にわたって、当財団の金庫からの窃盗、チケット売上金の横領を繰り返し行い、これにより当財団に損害を与えたものと認めた。元職員Bについては、元職員Aによる長期間にわたる多額の窃盗・横領行為を認識していながら、基本財産、退職手当積立金等の無断取崩し・流用等の違法行為でこれを隠蔽し、さらに残高証明書の偽造、内容虚偽の財務諸表作成等の違法行為を繰り返していた。財団で正味の保有資産額を調査したところ、基本財産及び退職手当積立金等を含めた資産等が令和4事業年度の決算で1億4194万9567円の減算修正、令和5事業年度の決算で更に871万9421円の減算修正を行い、その減算修正合計額は1億5066万8988円であった。このことは、元職員Aが平成25年から約10年間に限っても自己名義の口座に2億1000万円以上の現金を入金して競馬で1億4000万円近い損失を出していること、元職員Bが「元職員Aによる窃盗・横領額が1億5000万円程度である」旨述べていることなどから十分に裏付けられていると判断した。

5. 事件の原因と背景

① 業務体制の不備

- ・長年にわたり現預金の管理から資産の運用まで職員が一人で管理しており、経理・会計業務における職員間の相互監視機能が十分に働かなかった。
- ・現金の管理について出納帳を作成せず、金庫内の現金有高を確認できない状態であった。
- ・領収書や精算書など集金に必要な書類の管理が杜撰で、担当者はいつでも自由に持ち出せた。
- ・通帳と出納印を、経理担当者が自由に使える状態であった。

② チェック機能の不備

- ・預金や現金について、定期的な残高の点検や確認が行われていなかった。
- ・幹部職員による監視機能が働かず、不正を検出することができなかった。

③ 組織的な問題

- ・財団の経理業務が固定化、属人化していた。
- ・職員のコンプライアンス意識が低かった。

6. 再発防止に向けた取り組み

① 業務体制の見直し

- ・ 経理担当者を複数人とし相互監視できる体制とした。
- ・ 集金業務を廃止しすべて銀行振込とした。
- ・ 通帳、出納印、領収書などを分けて保管し、それぞれの鍵をセキュリティー付きキーボックスで管理することとした。

② チェック機能の整備

- ・ 会計責任者、出納責任者、現金取扱員等の責任を明確にし、複数人で分担する体制とした。
- ・ 定期的に通帳、帳簿を確認する体制とした。
- ・ 監査回数を増やし、外部の公認会計士をアドバイザーとして置くこととした。

③ 組織的な問題への対応

- ・ 適切な人事ローテーションを行う。
- ・ 定期的に職員に会計、コンプライアンス研修を実施する。